

# パパママ 自転車あんぜん通信



皆さん、こんにちは。パパ・ママ自転車安全推進サポーターニュースレター第6弾です。

厳しい残暑も終わり、自転車でお出かけもしやすい季節になってきましたね。さて、そんなワクワクのお出かけシーズンに気を付けたのが「不慮の事故」です。今一度、自転車安全講習会の内容を思い出しながら、ヘルメット着用以外にも気を付けるべきポイントをおさらいしていきましょう。

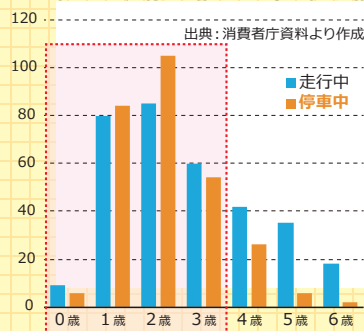
今回のニュースレターは「安全確認とサイクルフェスタ」をテーマにしています。皆さまの楽しい自転車ライフの参考にしていただければ幸いです。



今日の  
メインテーマ

## 停車中も安全確認 できていますか??

年齢別の走行中・停車中の事故件数(件)



実は多い走行中以外の事故?!特に右図のとおり、0~3歳児が絡む事故のうち約半数は「停車中」に起きています。子どもを自転車に乗せるとき、降ろすときには、安定した場所で、安全に行うことがとても大切です。停まっている時の転倒・転落事故には気をつけましょう!

### 3つの事故例

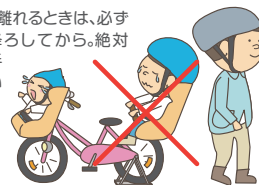
- 傾斜があるところで停車させた際に自転車のバランスが崩れ転倒し、子どもがヘルメット未着用で頭部強打し頭蓋骨骨折で入院...
- 荷物の積み下ろし時に、自転車のバランスが崩れ転倒し、子どもが腕を骨折...
- ほんの1~2m先だから...と、少し目を離した際に、子どもが左右にジタバタ!シートベルトをしておらず、子どもが転落し腕を骨折...



### 次のことをしっかり守ろう!

#### 自転車から離れない!

自転車から離れるときは、必ず子どもを降ろしてから。絶対に、目も手も離さないこと!



#### ヘルメットはしっかりかぶる!

ヘルメットは、万が一転倒したときに、子どもの命を守る最後の砦。停車中も転倒する可能性があるのでしっかりかぶりましょう。

水平にのせるだけでは意味なし!

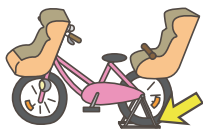
あごひももしっかりとめる



### 事故を防ぐための手順

START!  
乗せるとき

1 平らな場所で、スタンドを立てる!



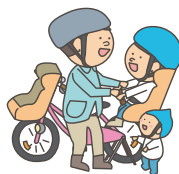
止まっているときにも、転倒事故はたくさん起きます。平らな、安定した場所で乗せ・降ろし!

2 乗せる前にヘルメット!



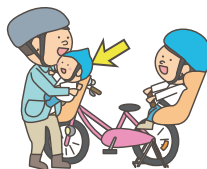
ヘルメットは「乗せる前」に付けること。あごひももしっかりと!

3 子どもを「抱っこ」して乗せる



ママ・パパが抱っこして乗せてあげてね。子どもを2人乗せるときは、「後ろから乗せる」。「前から降ろす」。

子どもが一人で乗らないよう気を付ける!



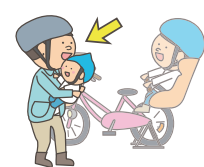
シートベルトを出発前に再チェック!  
「降ろすときはヘルメットが一番最後。間違えないように」

START!  
降ろすとき

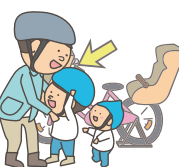
1 平らな場所で、スタンドを立てる!



2 子どもを「抱っこ」して降ろす



子どもが一人で降りないよう気を付ける!



3 ヘルメットが一番最後に外すこと!



